



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場会社名 キムラユニティ株式会社
 コード番号 9368 URL <http://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小山 幸弘
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 052-962-7053
 平成25年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,701	2.6	785	59.0	1,021	78.9	589	71.0
25年3月期第2四半期	19,204	6.8	493	38.2	571	55.7	344	83.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,765百万円 (218.3%) 25年3月期第2四半期 554百万円 (96.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	48.83	—
25年3月期第2四半期	28.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	44,962	23,975	51.8	1,931.49
25年3月期	42,074	22,355	52.0	1,812.82

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 23,309百万円 25年3月期 21,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	4.8	1,550	13.9	1,700	2.0	1,000	7.6	82.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,070,000 株	25年3月期	12,070,000 株
26年3月期2Q	1,675 株	25年3月期	1,662 株
26年3月期2Q	12,068,332 株	25年3月期2Q	12,068,422 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、当該短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策等により、円高から円安への転換や株価の上昇など、景気回復への期待感が高まり、明るい兆しが見られたものの、本格的な景気の回復には不透明感があり、未だ時間がかかると考えられます。

また、当社グループと関係の深い自動車業界は、円安への転換等もあり、企業収益は全般に好転の中で推移しましたが、一方で、新興国の景気の減速や国内自動車販売の減少等、先行きは厳しい状況であると考えております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、物流サービス事業は、北米子会社KIMURA, INC.の持ち直し等により、好転しましたが、反面、自動車サービス事業では、自動車販売の落ち込み等により、厳しい状況で推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,701百万円（前年同期比2.6%増収）となりました。

一方、利益面においては、物流サービス事業を中心に、収益改善活動を強力に推進したこと等により、営業利益が785百万円（前年同期比59.0%増益）、経常利益は為替差益の計上もあり1,021百万円（前年同期比78.9%増益）、四半期純利益は589百万円（前年同期比71.0%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次のとおりであります。

① 物流サービス事業

物流サービス事業は、北米子会社KIMURA, INC.での受注の回復等、国内・国外とも格納器具製品事業の受注量が大幅に増加したこと等により、売上高は13,541百万円（前年同期比5.5%増収）となりました。営業利益は、増収効果に加え、生産性の改善等の収益改善が着実に成果をあげることが出来たこと等により、968百万円（前年同期比77.2%増益）と大幅な増益を確保することが出来ました。

② 自動車サービス事業

自動車サービス事業は、前期のエコカー補助金制度の終了の影響による自動車販売の落ち込み等により、5,606百万円（前年同期比2.0%減収）となりました。営業利益は、売上高の減収や稲沢拠点の再開による費用の発生等もあり、260百万円（前年同期比20.1%減益）となりました。

③ 情報サービス事業

情報サービス事業は、長期化する企業のシステム投資抑制の影響等により、売上高は440百万円（前年同期比17.6%減収）となり、営業利益は、売上高の減収により、30百万円（前年同期比54.3%減益）となりました。

④ 人材サービス事業

人材サービス事業は、売上高は381百万円（前年同期比12.5%増収）となりましたが、営業利益は、募集コストの増加等により、26百万円（前年同期比19.0%減益）となりました。

⑤ その他

その他は、今期より、太陽光発電事業による売電サービスを開始したことにより、売上高26百万円、営業利益13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、44,962百万円となり、前連結会計年度末に比較して2,887百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産が、現預金やリース投資資産の増加により1,093百万円増加し、固定資産が、国内でのソーラーパネルの設置、稲沢APR本店（整備、钣金工場）再開等により有形固定資産が1,229百万円、投資その他の資産が、有価証券の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により512百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、20,986百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,267百万円の増加となりました。その主な要因は、買掛金366百万円の増加とリース投資資産増加に伴う長期未払金563百万円の増加等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して1,620百万円増加の23,975百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.2ポイント下落の51.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ304百万円増加し、4,332百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては986百万円の収入（前年同四半期は120百万円の収入）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益が408百万円、仕入債務が629百万円、長期未払金が574百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては317百万円の支出（前年同四半期は663百万円の支出）となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出が323百万円減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては460百万円の支出（前年同四半期は313百万円の支出）となりました。主な要因は短期借入金の返済による支出が131百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、政府の経済対策もあり、国内景気が本格的に回復する兆しが見えつつありますが、中国を始めとする新興国での景気減速や米国での政情不安等、引き続き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような環境の中で当社グループの業績につきましては、第2四半期累計期間が当初の見通しより上ブレして推移しましたが、下半期につきましては、各事業セグメント間にはバラツキがあるものの、今後の見通しに不透明感が強いことから、全体的には平成25年4月26日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,498,610	4,802,938
受取手形及び売掛金	5,551,922	5,483,587
リース投資資産	7,356,092	7,939,449
商品及び製品	88,737	165,238
仕掛品	29,579	91,672
原材料及び貯蔵品	120,261	183,146
繰延税金資産	273,767	258,790
その他	1,181,185	1,269,022
貸倒引当金	△800	△1,000
流動資産合計	19,099,356	20,192,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,439,246	9,169,225
機械装置及び運搬具(純額)	426,223	458,974
貸与資産(純額)	287,855	323,866
土地	5,908,526	5,909,671
建設仮勘定	66,806	1,651
その他(純額)	372,787	867,693
有形固定資産合計	15,501,445	16,731,083
無形固定資産		
のれん	8,168	6,273
その他	684,162	738,253
無形固定資産合計	692,330	744,526
投資その他の資産		
投資有価証券	3,639,436	3,976,024
繰延税金資産	410,885	330,354
その他	2,734,203	2,990,390
貸倒引当金	△3,056	△3,056
投資その他の資産合計	6,781,469	7,293,713
固定資産合計	22,975,244	24,769,323
資産合計	42,074,601	44,962,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	904,456	1,271,294
短期借入金	1,354,528	1,371,085
1年内返済予定の長期借入金	42,363	1,053,226
未払金	3,333,211	3,270,970
未払費用	1,660,797	1,747,922
未払法人税等	419,316	320,202
賞与引当金	614,489	609,222
役員賞与引当金	20,000	12,500
その他	389,477	400,386
流動負債合計	8,738,640	10,056,809
固定負債		
長期借入金	2,105,909	1,106,453
長期未払金	5,940,971	6,503,980
退職給付引当金	1,811,194	1,754,915
再評価に係る繰延税金負債	1,010,095	1,010,095
その他	112,458	554,341
固定負債合計	10,980,628	10,929,785
負債合計	19,719,269	20,986,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,420,139	3,420,139
利益剰余金	14,277,724	14,722,290
自己株式	△1,382	△1,395
株主資本合計	21,276,831	21,721,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,293	913,600
土地再評価差額金	399,762	399,762
為替換算調整勘定	△554,063	275,202
その他の包括利益累計額合計	600,992	1,588,565
少数株主持分	477,507	665,624
純資産合計	22,355,331	23,975,573
負債純資産合計	42,074,601	44,962,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	19,204,454	19,701,625
売上原価	16,430,510	16,564,239
売上総利益	2,773,943	3,137,386
販売費及び一般管理費	2,279,993	2,352,205
営業利益	493,950	785,181
営業外収益		
受取利息	611	3,105
受取配当金	19,223	23,356
為替差益	—	111,551
持分法による投資利益	103,919	158,009
その他	34,180	25,280
営業外収益合計	157,934	321,303
営業外費用		
支払利息	50,071	50,252
和解金	—	18,640
為替差損	27,020	—
その他	3,611	15,595
営業外費用合計	80,703	84,488
経常利益	571,181	1,021,995
特別利益		
固定資産売却益	1,195	81
特別利益合計	1,195	81
特別損失		
固定資産除売却損	8,987	49,852
その他	314	350
特別損失合計	9,302	50,202
税金等調整前四半期純利益	563,074	971,874
法人税、住民税及び事業税	185,128	320,125
法人税等調整額	△531	14,976
法人税等合計	184,596	335,101
少数株主損益調整前四半期純利益	378,477	636,772
少数株主利益	33,899	47,387
四半期純利益	344,578	589,385

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378,477	636,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,657	158,306
為替換算調整勘定	232,542	811,608
持分法適用会社に対する持分相当額	6,157	158,387
その他の包括利益合計	176,042	1,128,302
四半期包括利益	554,519	1,765,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484,689	1,576,958
少数株主に係る四半期包括利益	69,830	188,116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	563,074	971,874
減価償却費	546,421	519,432
のれん償却額	1,990	1,895
持分法による投資損益(△は益)	△103,919	△158,009
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	200
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44,270	△17,365
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000	△7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19,756	△56,279
受取利息及び受取配当金	△19,857	△26,479
支払利息	128,448	123,368
為替差損益(△は益)	24,567	△79,944
有形固定資産売却損益(△は益)	△9,983	△40,331
有形固定資産除却損	8,985	49,852
売上債権の増減額(△は増加)	147,811	308,487
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48,732	△191,872
リース投資資産の増減額(△は増加)	△372,096	△733,460
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△201,837	△57,145
仕入債務の増減額(△は減少)	△283,727	345,714
その他の流動負債の増減額(△は減少)	100,546	△26,536
長期未払金の増減額(△は減少)	△11,914	563,009
その他の固定負債の増減額(△は減少)	293	747
小計	410,744	1,489,656
利息及び配当金の受取額	46,759	74,179
利息の支払額	△126,716	△123,440
法人税等の支払額	△210,143	△453,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,643	986,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△599,095	△275,273
有形固定資産の売却による収入	37,115	61,367
投資有価証券の取得による支出	△734	△757
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△80,397	△102,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663,111	△317,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△134,239	△265,975
長期借入れによる収入	1,025,102	—
長期借入金の返済による支出	△80,990	△23,863
社債の償還による支出	△1,000,000	—
リース債務の返済による支出	—	△25,896
自己株式の取得による支出	△40	△12
配当金の支払額	△120,611	△144,795
少数株主への配当金の支払額	△2,728	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313,507	△460,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,023	95,992
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△837,952	304,327
現金及び現金同等物の期首残高	4,505,441	4,028,610
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,667,489	4,332,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,840,267	5,692,069	534,659	137,457	19,204,454	—	19,204,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	462	27,786	—	201,375	229,624	△229,624	—
計	12,840,730	5,719,855	534,659	338,833	19,434,079	△229,624	19,204,454
セグメント利益	546,490	326,083	65,881	32,797	971,253	△477,303	493,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△477,303千円には、セグメント間取引消去1,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△478,824千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,541,445	5,578,080	440,479	114,632	19,674,637	26,988	19,701,625	—	19,701,625
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,016	—	266,505	294,521	—	294,521	△294,521	—
計	13,541,445	5,606,096	440,479	381,137	19,969,158	26,988	19,996,147	△294,521	19,701,625
セグメント利益	968,323	260,417	30,102	26,553	1,285,396	13,549	1,298,946	△513,765	785,181

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△513,765千円には、セグメント間取引消去1,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△515,286千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。